

茨城県生協連ニュース 臨時号 No.10

茨城県豪雨災害復興関連情報 がんばろう！

2015年9月23日 発行:茨城県生活協同組合連合会 水戸市梅香 1-5-5JA会館分館 5F 電話 029(226)8487

常総市内には県内外のNPOが支援活動に入っています。その活動を紹介します。

<愛知ネットの皆さんがキッチンカーで暖かいうどんの提供>

愛知ネットという愛知県にあるNPOが、キッチンカーをもって、被災者のみなさんにうどんの提供を9/21から始めました。(東日本大震災の時はキッチンカーをもって岩手県で2年間支援にあたったそうです)炊き出しセンターの敷地の一部をつかっています。9/24まで滞在。このNPOの活動をいばらきコープがお手伝いしています。



少しずつ市民に広まってきているため、100食から始まって、昨日は250食まで増えてきました。
写真は、大人数なのでリヤカーで運んでいく方もいます。
暖かいのでとても喜ばれています。

<茨城県のNPOセンター・コモンズも奮闘しています>

NPOセンター・コモンズはこの常総市に事務所を構えていました。その事務所も浸水してしまいました。そこで被災者支援をその事務所であることを決め、いち早く泥だし、片付け作業を行って、支援活動を開始しました。センターの名前は、たすけあいセンターJUNTOSです。「みんなで共に助け合おう！地域復興のための拠点」です。※JUNTOSとはポルトガル語で「一緒に」という意味です。

常総市には多くのブラジル人やフィリピン人など外国の方々が生きています。その方々にも情報が届くように、ポルトガル語で、かわら版をつくり、避難所にいる方などに手渡したり、コンビニに掲示させてもらい、情報提供しています。



【たすけあいセンターで発行しているかわら版】



【たすけあいセンターの前に掲げられているボード】

ポルトガル語と日本語、床上浸水の片付け方、罹災証明の申請の仕方、再開している金融機関やホームセンターの様子さらに、粗大ごみの出し方、子どもの預け方などのつてます。外国人には情報がほとんど届いていません。

<お問い合わせ>茨城県生活協同組合連合会(担当 古山・原)Tel 029-226-8487 Fax 029-224-1842

Mail ibkenren@ibaraki-kenren.coop

以上